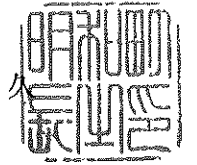


明建第 5235 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

明和町長 恩 田



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

日頃より、明和町の道路行政に対しまして多大なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記案件につきましては、別紙のとおり提出しますのでよろしくお願いします。

群馬県邑楽郡明和町新里250-1

明和町役場建設水道課建設係

担当 瀬下 嘉彦

TEL 0276-84-3111

FAX 0276-84-3114

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

群馬県明和町

○都市計画道路の事業化に伴う補助制度の創設について

・広域的な幹線道路の役割を担う都市計画道路の事業実施においては、多額の事業費が必要になるため、自治体財政の大きな負担になっています。特に鉄道の立体交差化については、補助制度の利用なくしては実施できないのが現状です。しかし、道路事業における現在の補助制度では、都市計画道路であつても必ずしも補助事業の対象になるとは限らないのが現状です。つきましては、都市計画道路整備推進のための補助制度創設について要望いたします。

○現状

明和町は、群馬県の東南端に位置し、南は利根川を隔てて埼玉県羽生市と接し、北は谷田川を挟んで館林市に接した人口11,000人強の工業と農業が調和した町です。
昭和37年に国道122号の昭和橋が完成し、昭和47年には、東北自動車道が開通したことに伴い、工場や住宅等の開発が進み、準農村地帯から都市的な様相へと変貌しました。

○課題

本町は利根川や渡良瀬川等の河川に囲まれた東毛地区に位置しているため、橋梁の整備が必要不可欠です。
また、近隣市町と連携した広域的な幹線道路路が十分に整備されていない状況です。

本町のような地方の町においては社会基盤である道路のネットワーク整備が大変重要な役割を担っております。このため、慢性的な交通渋滞の解消や、交通の安全確保を図るとともに、広域的な交通体系の確立を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④
群馬県明和町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・橋梁及び広域的な幹線道路の整備による地域活力の向上	・利根川に架かる国道122号昭和橋の4車線化及び利根川・渡良瀬川の新橋建設 ・幹線道路としての役割を担う都市計画道路等の整備	・首都圏へのアクセスや地理的に繋がりの深い栃木県南西部との広域的な交流が向上 ・国道122号昭和橋近辺の慢性的な交通渋滞の解消 ・東北自動車道館林ICへのアクセス向上 ・企業立地の向上及び商業振興等による地域経済の活性化	